

Pal

～仲間



2015
Winter Edition
Vol.88

やまと世界料理の屋台村



気持ち良い秋の一日。
世界の料理が大和駅前に集まりました。
多くの皆様にご参加いただき
ありがとうございました。

2015年10月25日
大和駅東側プロムナード



Contents

こんなところに外国人！「皆さんの仕事場、見学させてください」	2～3
Hello Everybody！～外国人市民インタビュー	4
行ってみたいな あのお店この店【タイレストラン チェンマイ】	5
市内国際関係団体のイベント案内	6～7
公益財団法人 大和市国際化協会からのお知らせ	8

こんなところに

外国人!**皆さんの仕事場、
見学させてください**

こんなところに

外国人!**神奈川都市交通 大和営業所**

台湾出身（日本国籍）高野静佳さん

ここは市内のタクシー会社。

男性が多いタクシー運転手の世界で奮闘する、外国出身の女性ドライバーがいると聞き、営業所にお邪魔しました。



左から高橋所長、高野さん、伊澤採用教育課長

タクシー90台、乗務員は180人以上を抱える大和営業所。その中で女性乗務員はわずかに14人。外国出身のドライバーは彼女ひとりです。まだプロとして乗務をはじめて1か月という高野さんにお話を聞かせていただきました。

■どうしてタクシーの運転手になろうと思ったんですか？

レストランで仕事をしていたんですけど、なかなか生活していくのに大変で、いい仕事はないかなって、インターネットで条件を入れて検索していたら、出てきた求人が全部タクシーの乗務員だったんです。これはそういうことなんだなって思って、地元で働けるこの会社に応募しました。

まだあまり日本語が上手じゃないので、乗務に必要な2種免許の試験に受かるのは難しいだろうと、最初の面接は不合格でした。それでもがんばりますから、ってお願いして、一人で大学生の娘を育てていることを話したら、営業所の所長が、本社の採用担当を説得してくれて、何とか入社させてもらえました。

2種免許を取るための自動車教習所に通わせてもらって、運転技術を見る卒業検定は一回で合格しました。でも、筆記の学科試験になかなか受からなくて…。3週間、毎日二俣川（※運転免許試験場）に通って、18回目ようやく合格しました。つらかったけど、あきらめようとは思いませんでした。こんなに落ちこちる人なんていないみたいで、みんながすごく喜んでくれてうれしかったです。

■実際にお客さんをのせてみてどうですか？

3日目に、道に迷ってお客さまに怒られてしまって、やっぱり向いてなかったのかなって、仕事を途中で放り出して、営業所に戻りました。同僚の内藤さんの顔を見たら涙がポロポロ出てきて…。「みんなそういう経験をしながら頑張ってるんだよ。」って言うてくれて、もう絶対に泣かないと今は決めています。

お客さまをお乗せしたとき、自己紹介して台湾出身であることを話します。気にしないでですよ、って言うてくださるお客さまが多いですし、お急ぎの様子だったら、「後ろの先輩の車をご利用ください」とご案内する余裕も出てきました。外国人のお客さまをお乗せした時に、「すごいね！」って言うてもらおうと、すこし誇らしい気持ちになります。でも、がんばれば絶対に免許はとれるし、外国人だから難しい仕事というわけではありません。

苦勞の末に手に入れた
2種免許です。お邪魔した日は、広報用の
写真撮影をしていました。
手前がいつも励ましてくれる
内藤さん。

■神奈川都市交通株式会社 高橋 聖大和営業所所長のお話

外国に来て頑張っている女性は芯が強い人だから大丈夫って言って伊澤課長を説得したんだよ。利用者もご高齢の方たちが増えてきて、女性ドライバーは評判がいいんです。高野さんはとにかく明るいからいいよね。

■神奈川都市交通株式会社 伊澤 好春採用教育課長のお話

交通法規の言葉は特殊だから、最初は心配しましたが、あきらめずに頑張りました。

中国や韓国などを中心に、今は全社で8名ほどの外国にルーツを持つ方が働いてくれています。2020年の東京オリンピックを見据えて、都内では積極的に外国人の乗務員を採用する動きもあると聞きます。乗務員は資格が必要な仕事ですが、免許取得のサポートもします。応募があったときに、国籍やルーツが影響するような職場ではありません。

こんなところに

外国人!

原設備工業株式会社

ベトナム出身 ゲン フン クォンさん
ゲン ヴァン クイさん

ここは市内の工事現場。

道路を通行止めにして、水道管の入れ替え工事が行われていました。11月も終わりのこの季節、日が陰ってくるとなかなか寒い。そんなここにも働く外国人の姿が。実は二人は、最近大和市でも増加が目立つ「技能実習生」。日本の技術を習得するために来日しています。



左からクイさん、クォンさん

クォンさん、クイさんのお二人は、今年の8月にベトナムから来日。1か月間、買い物の仕方や公共交通機関の利用方法、防災訓練など、日本での生活についての研修を受けた後、市内の主に水道関係の設備の設置をとり扱う「原設備工業株式会社」で、現場に出始めたばかりです。これから、3年間、この会社で実習を受け、さらに2年間就業する予定になっています。以前ベトナムでも同じような仕事に就いていましたが、日本とベトナムの現場では安全と衛生に対する取り組み方が全然ちがうことにとても驚いたそうです。帰国したら、「配管の道具を売る仕事を始めたい」と、目標もできました。

「仕事や生活には慣れましたか?」という質問に「まだまだ全然。」「でもだんだん…」と答えた二人。制度で定められたカリキュラムに従って、来日前には、8か月の日本語教育を受けています。もっとも、現場で使われる日本語が、ベトナムで教わってきたものと違うことにショックを受けたそうで、実習を始めてからも、仕事が休みの日曜日には、市内の教室に通って勉強を続けています。もちろんそれだけではなく、横浜や江の島にあそびに行ったり、ラーメンを食べに連れて行ってもらったり、テレビで見て憧れていた日本での生活も楽しんでいる様です。



仕事場は工事現場



アジアビジネスサポート事業協同組合の増山隆文さん(右)とベトナム語通訳兼研修講師のゲン ティ ゴック ハンさん

クォンさん、クイさんの受け入れを行ったのは「アジアビジネスサポート事業協同組合」という市内の団体。技能実習生は、海外に営業所を持っている企業などは別にして、中小の企業が直接受け入れることが出来ません。こちらでは、実習生の受け入れを希望する企業がお金を出し合って、実習生を受け入れ、企業と実習生を管理・監督するための事業協同組合を作っています。

アジアビジネスサポート事業協同組合にお邪魔してお話を伺いました。

■今の地域の就労環境はどのような状況ですか?

特に建設業界での人材不足は厳しくなっています。少子化で就労人口が少なくなっていることに加えて、震災復興需要や国土強靱化政策による公共工事の増加、さらにこれからは東京オリンピック特需なども控えているため、現場の数が増え、人材の確保に苦労されています。特に、若手の人材は職業観のミスマッチもあって定着しないため、現場の高齢化が進んでいます。

■実習生の受け入れを希望する企業は増えていますか?

今、この組合では25社が技能実習生を受け入れています。これまで3年間の技能実習修了者は、全員帰国後、就労者として再入国することができませんでしたが、平成27年4月1日から「外国人建設就労者受入事業」が施行され、建設分野に限り外国人建設就労者として入国が可能となりました。具体的には3年間の実習終了後も国内に引き続き在留する場合は2年間、一旦帰国する場合は2年間(又は3年間)、特定建設修了者として働くことが出来ます。

このような制度の実施もあって、労働力の確保を図るため技能実習生を新規に受け入れたいと、相談に来る企業は増えてきています。

「お昼ご飯は?」と聞くと、毎日お弁当を作っているとのこと。24歳のクイさんは、実は、ベトナムに奥さんと1歳になる女の子を残して来日しています。ご家族は反対しなかったんですか?と聞くと、「あまりお金持ちじゃないから、たくさんお金を稼がないと…」と本音がチラリ。

送り出す側、受け入れる側、双方のニーズがかみ合って、この制度は成り立っているようです。技能実習制度については、外国人の人権を尊重しない労働の実態がニュースになることもありましたが、2012年に法律が変わり、技能実習生の受け入れをしている企業には、労働環境の整った会社であると胸を張ることが出来るほど、厳しい基準が課せられているんだそうです。

今、実習できる分野やその期間の拡大もどんどんと進められようとしています。これから彼らが日本で暮らすのはそう短くはない時間。地域に受け入れられ、日本での経験が彼らのこれからのにとってよいものとなるよう願います。

Hello everybody!

外国人市民
インタビュー

ベトナム出身 レティ シュン ユウさん

小さいころは、とにかくよく勉強していたというユウさん。今は、国際化協会の通訳・翻訳ボランティアや第11回やまと国際交流フェスティバルの実行委員として活躍してくださっています。



どんな子ども時代を過ごされましたか？

私は、7人兄弟の末っ子で、姉・兄・姉・姉・姉・兄・私の順です。

ベトナムの中部にあるカインホア省の、ビーチで有名な観光地ニャチャン市の近くに住んでいました。漁業をしていて、父が捕ってきた魚を母が市場で売って生活をしていました。

上の四人の姉兄は、ベトナム戦争の戦中生まれです。第2次世界大戦後のベトナムは、南と北、国が2つに分かれて戦争をしました。中部のニャチャンは、南側、アメリカの占領下にあったので、父もアメリカ軍の兵隊として、メコンデルタに送られ、同じベトナム人同士で戦いました。でも、戦争に行きたい人なんていません。父は嫌になってしまって、戦場から逃げ出したそうです。昼間は家の中に隠れて、夜になったら、生活のために、魚を捕りに海に行くんです。でも、見つかってしまって、海の上でアメリカ軍に太ももを撃たれてしまいました。その時、兄を身ごもっていた母は、とても心配したそうです。命まではとられませんでした。また、戦場へ送られることになりました。

1975年に戦争が終結してようやくベトナムは1つの国になりました。戦争が終わったときは、米や野菜、肉も魚も配給制で、姉たちは、よく米がなかった時のことを話していましたが、1980年代生まれの私が物心ついたときには、食卓には魚なんかも並ぶようになっていました。

一番上の姉は、ベトナムで公務員をしているのですが、勉強したかったのに叶わなかったようで、よく私の勉強を見てくれていました。小学校の入学の日、教室の私の隣に席を並べて、横からあれこれ口出ししていたことを覚えています。そんな姉の勧めで、中学校は試験を受けて、学区外の学校に通っていました。

高校生の時も同じように、省の成績が優秀な学生たちが集まる高校で文学のクラスに在籍していました。クラスメイトはたった18人。寮生活を送っていました。成績が下がると追い出されてしまう厳しい学校で、地元の学校に戻るのには恥ずかしいし、家族も期待してくれていたの、とにかく勉強をして大学に行きたいと考えていました。

無事にホーチミン市の人文社会科学大学に合格して、東洋学部在籍することになりました。長兄が勧めてくれて、日本語学科を選びました。兄は、経済的事情が許さず、中学校を卒業した後、3年間兵役についていたのですが、戻ってきた後、もっと勉強したくなると、自分でお金を稼ぎながら、大学を卒業しました。私が大学に

入学した年に父が亡くなって、私の学費や生活費を用意してくれたのもこの兄です。

大学3年生の時には、交換留学で1年間神戸に暮らしました。大学を卒業後に、ベトナムにある建築関係の日系企業に就職したんですが、日本語教育をやりたいという希望があったので、2年後に、ロータリークラブの奨学金を頂いて、埼玉の大学院にもう一度留学しました。

今は結婚されて、子育てに専念されています。

夫とは、ホーチミンの大学に通っているときに、参加していた日本語クラブで知り合いました。卒業後は連絡を取り合っていなかったのですが、日本で再会しました。東京工業大学に留学をしていたんです。小さいころから日本が大好きだったそうで、半分日本人みたいな人です。

卒業後に相模原の会社に勤めはじめた彼と結婚して、私も大和市にきました。恵比寿にあるベトナムと日本の、IT関係の合併会社に就職して、通訳や翻訳の仕事を続けていました。

ベトナムの会社や役所と違って、遅くまで残業したりしますが、最初に勤めた会社も日系の企業だったので、特に違和感はありませんでした。今も、夫は出張や残業で、ほとんど家にもいないような状況ですが、それも、受け入れられています。

子どもができたことをきっかけに、仕事を辞めて今は、3歳になる男の子を育てています。

甘えん坊で、いたずらが好きで、ご飯もちゃんと食べてくれないんですが、笑顔を見ると幸せになります。パパと乗り物が大好きで、出かけるたびに、必ず踏切のある道を選びます。5本も電車を見送ったこともありますよ。3歳になってからはベトナム語がだいふしゃべれるようになって、歌なんかうたったりして面白いです。

子育てをしていると、やっぱり泣きたい気持ちになることはあります。そういう時は、家に閉じこもっていないで、なるべく出かけるようにしています。コミュニティセンターや学習センターによく出かけます。おかげで近所に顔見知りも出来ました。でも、一番のストレス解消は、ベトナムの、同じころに出産をしたすぐ上の姉に電話をして、ひたすらしゃべり続けることです。今は全然生活が違うので、アドバイスをしてもらうこともできませんが、思っていることを全部聞いてもらうと、すっきりしてまた、がんばれます。

国際化協会のボランティア登録を始めてから、子育て以外にやる事が出来て喜んでます。外国人のお母さんたちの集まりに参加するようになって、これも楽しみです。

少し子育てが落ち着いたなら、ずっと家にしないで、働きたいと思っています。自分の強みを生かして、ベトナムとかかわる仕事をしたいです。



ベトナムの家族と

TRAVEL SUPPORT Inc

トラベル サポート 海外正規割引航空券
ホテル・現地ガイドの手配もOK

TEL 046(204)7714 E-mail travel-support.h@gol.com



8月10日にNew Open! 床屋さんが
始めた中央林間のタイ料理屋さん

タイ・レストラン チェンマイ



オーナーの諏佐さんは理容師です。腕には自信あり。今も昔からのお客さんが遠くからでもきてくれます。

生家は和太の近くにあったレストラン「ワカマツ」。戦争が終わって間もないころの話です。米兵とお付き合いし

ている近所のきれいなお姉さんに、厚木基地へ連れて行ってもらったり、まわりには、在日コリアンたちが開く焼肉屋や居酒屋があったり。思えばそんな時代でした。

5人兄弟の末っ子の諏佐さんは、毎日山のように積まれるお皿を洗うのがどうしても嫌で、理容師に。髪型が決まっている男の人が何よりカッコよく見えたからです。

昭和39年に「ヘアーサロン ワカマツ」を開業。大和と中央林間に2つの店舗を構え、何人ものお弟子さん雇い入れて、大きな商いをしていました。当時お弟子さんたちに住まわせたいたお部屋は、今、シェアハウスとして、日本人やネパール人留学生たちに貸し出しています。

南林間にインドシナ難民定住促進センターがあったころは、月に1回、散髪のご奉仕にも行っていました。ものすごく、面倒見のいい人なのです。「差別もあったらう時代に、国境のない敬意を持っていたのはどうしてかって？ 両親が一切そのようなことを口にしなかったからだね。」

チェンマイは、タイの北部にある、都市の名前。すごく暑いタイで、チェンマイはなぜかすーっと涼しくて、大好きになっちゃったから、いつか移住できるように願いを込めて、お店の名前に付けました。



住 所：大和市中央林間3-8-3
営業時間：ランチ 11:00～15:00 (L.O.14:30)
ディナー 17:00～23:00 (L.O.22:30)
定 休 日：なし
電話番号：046-274-4611
駐 車 場：近くのコインパーキング
をお使いください。



20年前、知り合いに誘われて、諏佐さんははじめてタイに行きました。タイ政府から国籍を与えられていない先住民族に、支援の物資を届けるためです。

すっかりタイが気に入って、帰国後は、横浜でタイ料理屋さんが集まる一角、中区の若葉町によく遊びに行くようになりました。中でも、24時間営業のディーブなタイ料理屋さんとして、有名な「J's store」にはよくご飯を食べに行きました。

時は過ぎて今年の話。床屋さんの半分を改装して、貸し出していたスナックが移転することに。もういっそのこと大好きなタイ料理屋をはじめようと思い立ったら即行動。「J's store」からシェフを連れてきて、ここに床屋さんの中のタイ料理店が誕生したわけです。今はすっかり気に入っちゃって、床屋さんは庭に移して、タイマッサージのお店をはじめちゃうかな、なんて思っているぐらいです。



諏佐さんが若葉町から連れてきたシェフがパッチャワライさん。みんなにはモッチちゃんと呼ばれています。

モッチちゃんは、タイでもシェフをしていた生粋の料理人。4年ほど前に「J's store」を手伝ってほしいと招かれて日本に来ました。

おしゃれに作られたこちらのメニューにはタイでの経験を生かした、洗練された料理達

が載っています。ランチのセットはA・B・Cの3種類あって、いずれも950円。今は1月からのメニュー入れ替えにむけて、地域の人たちに美味しいと言ってももらえるメニュー作りに取り組んでいます。

でも、本当はモッチちゃんのおすすめは、日本で頑張る同胞向けの裏メニュー。タイ全土から



来て横浜に暮らす日タイ人たちの舌に鍛えられた自慢の料理をたくさん載せています。

「今の季節のおすすめはやっぱり「スキ＝お鍋」かな。日本人の人たちにも、タイ料理っておいしいなって思ってもらえたらうれしいと思っています。」



地域密着・顧客密着のクリエイティブ集団

SINCE 1885



似顔絵名刺で
集客!UP

会談の
きっかけに
なる

キャラクターで
売上!UP

一目で
イメージが
伝わる

デザイン

似顔絵
キャラクター

販促支援

印刷

広告

ホーム
ページ



さん太くん

ご相談無料

株式
会社

さんこうどう

<http://www.sankodo.net>

0120・3510・13

市内国際関係団体のイベント案内

大和地区日中友好協会

新春・日中談話会

日 時：2016年1月9日(土) 午前10時30分～正午
場 所：画廊喫茶「オルセー」(大和市鶴間2-3-10
小田急江ノ島線鶴間駅 徒歩3分)
内 容：日本人と中国人が共通のトピックスを気軽に話し合
う月例のおしゃべり会です。どなたも参加自由、
無料(ただし飲み物は各自が注文)。

春節の集い

日 時：2016年2月13日(土) 午前11時～午後2時
場 所：画廊喫茶「オルセー」(大和市鶴間2-3-10
小田急江ノ島線鶴間駅 徒歩3分)
内 容：軽食を楽しみながら、中国のお正月「春節」を祝う恒例の友好交
流会。ミニ講演や参加者による特技の披露も。どなたも参加自由
参加費：500円



お申込み：上記いずれも大和地区日中友好協会 電話：046-263-9967(鈴木さん) 046-240-6687(石井さん)

中国語教室 生徒さん募集!! —— 新年からネイティブ講師と交流しませんか?

<中級クラス>

学習歴1年以上の方、会話スキルアップをめざす方
日 時：第1・2・3土曜日 午後1時～3時
場 所：大和市コミュニティセンター西鶴間会館
(大和市西鶴間2-4-20)



<初級クラス>

「ニイハオ」「シエシエ」から、初心者のための入門コース
日 時：第1・2・3木曜日 午前9時～11時
場 所：大和市生涯学習センター(大和市深見西1-3-13)

お申込み・お問い合わせ：上記いずれも大和地区日中友好協会 電話：046-263-9967(鈴木さん)

NPO法人日本ペルー共生協会(AJAPE)

南米にルーツを持つ子どもたちのための 「継承言語」としてのスペイン語教室

南米にルーツを持つ子どもたちのためのスペイン語教室です。
日 時：2016年1月10,17,31,2月2,14,28日 全6回
いずれも日曜日 午後1時から3時
場 所：大和市青少年センター
参加費：月額3,000円(2人兄弟の場合1人2,000円、3人以上の場合1人1,500円)



読み聞かせの会

日 時：2016年1月31日(日)
午後3時から4時まで
場 所：大和市青少年センター
対 象：どなたでも



スペイン語教室 スペイン語に興味を持つ日本人の方のための教室です。いずれの講座も、受講料の他に入会費2,000円がかかります。

初級(スペイン語の基礎を勉強された方対象)

日 時：1月9,16,30,2月6,13,27,3月5,12日 全8回
いずれも土曜日 午後6時30分から8時
場 所：町田市民フォーラム
費 用：5,600円



中級(スペイン語初級を勉強された方対象)

日 時：1月9,16,23,30,2月13,20,27,3月5,12,26日 全10回
いずれも土曜日 午後6時30分から8時
場 所：町田市民フォーラム
費 用：7,000円

お問い合わせ・お申込み：090-7834-6653(高橋さん)

NPO法人かながわ難民定住援助協会

日本語初級文法 短期集中講座

初級文法を集中して学ぶ外国人向けの日本語講座です。

日 時：2016年1月12日(火)～2月10日(水)
毎週火・水・木・金曜日
午前9時から11時(全18回)

場 所：大和市生涯学習センター

対 象：簡単な会話ができて、ひらがな、カタカナが読めて書ける人

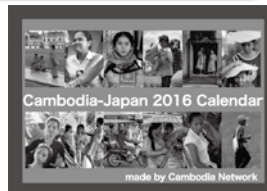
定 員：先着15名

費 用：13,000円(別に教材費が必要です)



チャリティーカレンダー販売中!

日本でなくなったインドシナ難民たちのお墓が湘南台(藤沢市下土棚999)の善然寺にあります。その納骨室が満杯になってしまい、カンボジア・ラオス・ベトナム三国の遺族を中心に改修工事を計画しています。



NPO法人在日カンボジアコミュニティでは日本人の学生たちとアイデアを出し合ってチャリティーカレンダーを作り資金を集めています。価格は1,000円と送料です。ぜひご協力下さい。

注文先：電 話 046-276-0841

メール mere_toichan@yahoo.co.jp(伊藤さん)

ベトナム料理教室

日 時：2016年2月28日(日) 午前10時～午後2時

場 所：大和市立渋谷中学校 家庭科室

講 師：フィン・ティ・トランさん

メニュー：パインセオ(ベトナムお好み焼き)、揚げ春巻、エビ入り餅、あん入り餅

持ち物：エプロン、三角巾、布巾、スリッパ

参加費：2,000円



お申込み：NPO法人かながわ難民定住援助協会

電話:046(268)2655 FAX:046(268)2451 Email: nanmin@enjokyokai.org

チーム ピース チャレンジャー

～インド帰りのフェアトレード物産展&写真パネル展～

チーム ピース チャレンジャーはインド、貧困村ブッダガヤで栄養失調で苦しんでいる子ども達や経済的に困難で苦しんでいる女性たちをサポートしています。インドの村の女性たちが手紡ぎ、手織した布を使って手作りした製品を展示します。ご来場の皆様に南インド直送のコーヒーの試飲をご用意しています。

日 時：2016年1月14日(木) 午前10時～午後4時

場 所：大和勤労福祉会館 お茶室

※ボランティア募集中!! ボランティアに興味のある方のご来場もお待ちしております。



お問い合わせ：080-3529-5135(蔵田さん)

NPO法人教育支援グループ Ed.ベンチャー

教育講演会「グローバリズムの果て」を問う—新自由主義への決別と創造の意思—

格差拡大の問題を引き起こしつつも世界を覆い尽くそうとしている新自由主義。その主役は「株式会社」です。グローバリズムのもと、企業は多国籍化し、国家を従えて膨張しています。そして私たち国民は、使い捨て可能な労働力にして消費の主役。それは、子どもたちの教育にも忍び寄っています。目指すところは世界に羽ばたく人材を育てることなのか、従順な労働者を生み出すことなのか。私たちは今、グローバリズムにより、いつかもたらされるという恩恵を、まだ信じて待ち続けるのか、それとも新たな生活を模索するのか選択を迫られています。未来の子どもたちに残すべき新たな社会の姿をともに考えましょう。

日 時：2016年2月21日(日) 午後1時30分から4時30分

場 所：大和市勤労福祉会館 3階ホール

講 師：平川克美さん(文筆家・事業家 立教大学特任教授)

参加費：一般1,000円、学生500円、高校生以下は無料



お申込み・お問い合わせ：090-7219-7362(角替さん)、Email:toiawase@edventure.jp

やまと国際フレンドクラブ

やまと国際交流パーティー2016

「世界各国のお料理やスナックを食べながら、国際色豊かなステージを見て、そしてみんなで踊っちゃおう!」というパーティーですので、ご家族連れで、お友達と、もちろん1人だって大丈夫。みんなでワイワイ楽しんで、国際交流しましょう!!一緒に踊ったり、歌ったり、「行って、見て、参加できる」「IFCカラー」のパーティーをお楽しみください。

(当日のステージプログラム等は決まり次第 <http://ifc-yamato.com> でご案内します。)

日 時：2016年3月19日(土) 開場 午後1時、開会 午後1時30分

場 所：大和市勤労福祉会館3階ホール



※イラストは2015年の様子です

現在チケット好評販売中です

大人(中学生以上)：前売り¥1000、当日¥1200(前売りで売り切れの場合、当日券はありません)

子ども(3才以上～小学生)：前売り¥500、当日¥600

※当日にお料理や会場準備をお手伝いいただけるボランティアを募集中です! こちらもお問い合わせください。



お申込み・お問い合わせ：やまと国際フレンドクラブ事務局

Email: info@ifc-yamato.com または、電話: 080-5451-0432(留守電)

公益財団法人 大和市国際化協会からのお知らせ

講座、イベントへのお申し込み、お問い合わせは国際化協会事務局までお願いします。

■公益財団法人大和市国際化協会

〒242-0018 大和市深見西8-6-12

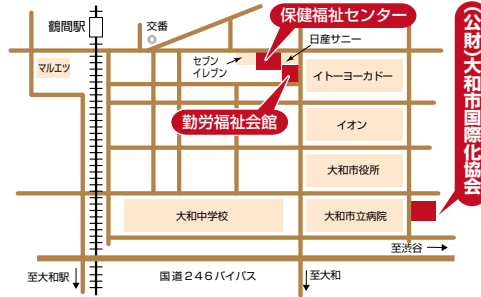
大和市役所分庁舎2階(大和市立病院の東側)

Tel:046-260-5126 Fax:046-260-5127

Email:pal@yamato-kokusai.or.jp

http://www.yamato-kokusai.or.jp

受付時間 月曜～金曜 午前8時30分～午後5時



マークの見方

	…日時		…場所
	…定員		…費用
	…対象		…内容
	…講師		…お申し込み方法

第11回やまと国際交流フェスティバル 出店者を募集します!

毎年大勢の市民で賑わう「やまと国際交流フェスティバル」。2016年5月22日(日)の開催を目指して実行委員会がスタートしました。当日、出店できる外国料理店とフリーマーケット出店団体を募集します。会場は、大和駅東側ブルムナードです。出店申込書は、大和市国際化協会事務局またはホームページから入手できます。

●外国料理店

募集店舗数：9店舗

出店費用：15,000円

受付期間：12月7日(月)から1月30日(土)応募者多数の場合は抽選

●フリーマーケット出店団体

募集団体数：8団体

出店費用：1,000円

受付開始：2016年1月18日(月)から先着順に受付

大和市国際化協会ボランティア活動説明会

国際化協会では、通訳、翻訳、学習支援のボランティア活動ができる登録制度を設けています。これから活動をはじめようとお考えの方を対象に、ボランティア活動説明会を行います。ぜひお気軽にご参加ください。

	2016年3月26日(土)午前10時から11時30分
	大和市役所分庁舎3階会議室
	国際化協会の概要、ボランティア活動内容についての説明会
	どなたでも

ボランティア交流会 日本語・学習支援セミナー

	2016年3月26日(土)午後1時から4時30分
	大和市役所分庁舎3階会議室
	日本語・学習支援セミナー「教科につなげるための日本語支援(算数・数学編)」 算数(数学)の文章題に出てくる言葉や表現が難しいために、なかなか理解できない生徒へどう教えるかを考える。ティートイムおよびワークショップも予定。
	大和市教育委員会 日本語指導員 薬師寺美穂先生
	国際化協会ボランティアおよび学習支援の活動に興味のある方 20名

パリさんのウズベキスタン料理教室

	2016年3月17日(木)午前10時から午後1時
	大和市保健福祉センター 3階栄養指導室
	ウズベキスタン出身 リズキエワ ザロファートさん
	ウズベキスタンの家庭料理「カルトシカ ピラフ」と「チュチュワラ(ウズベク風のギョウザ)」と一緒に作りながら、講師の出身国であるウズベキスタンの食文化や習慣などについて話を聞きます。
	どなたでも
	15名
	700円
	電話または窓口で、1月12日(火)から先着順に受け付けます。(定員になり次第締め切り)

災害多言語支援センター設置・運営訓練

災害多言語支援センターは大きな災害が起きたとき、外国人に情報を届ける拠点として設置するものです。この訓練は、災害時に外国人を支援するボランティアが集まって実施します。今回は多言語情報の提供、避難所巡回訓練に取り組む予定です。災害時の外国人支援をいっしょに考えてみませんか?お申込みお待ちしております!

	2016年2月27日(土)午後1時から4時30分
	大和中学校
	外国人を支援している方、災害時の外国人支援に関心のある方
	事前にお申込みください。



<http://www.sikirei.com/>

大和斎場でのご葬儀もご用命ください。

ゆっくりとお別れのできる 一日一家族の葬儀式場

家族想いの 大和式礼

ご自宅でのご安置にお困りの方、当館霊安室でお預かりできます。

大和式礼 ☎ 0120-143-011 年中無休 24時間受付

大和市大和東 2-9-13 相鉄線・小田急江ノ島線「大和」駅北口より徒歩約6分